



東京旧友会メールマガジン

2022年8月1日号

メルマガは添付の **PDF** ファイルでもご覧になれます。

下線付きの文章をクリックすると関係サイトが表示されます。

[旧友会のホームページ](#)も御覧ください。



旧友会の皆さんの活動に刺激され山歩きならぬ、ご近所歩きを始めました。すると大規模団地や住宅地のすぐ裏に未舗装の林道を次々に発見。林道は尾根伝いに伸び、時に藪をかき分け、鶯・四十雀・時鳥を伴に進むと、突然眺望が開けます。大山から蛭ヶ岳に至る丹沢の稜線、天気良ければ富士山も望める、まさにご近所トレッキングです。

地図で確かめると尾根伝いの林道は行政区域（東京都・神奈川県）の境界線と重なります。二つの行政区域の狭間、つまり辺境として開発から取り残された土地のようです。境界線＝辺境に残された幅数十メートルの自然を楽しむ「ご近所トレッキングコース」をさらに開拓しようと、今「ちむどんどん」しています。

【旧友会事務局から】

・ 夏季休業について

事務局は、8月15日（月）から8月19日（金）の間、夏季休業となります。ご不便をおかけしますがあらかじめご了解ください。

【お知らせ】

NHK 共済会を利用した買い物やサービスは、OBになっても使えます。共済会のサイトには、オンラインショップでのさまざまな食材、お酒、電気製品、家具、レンタカー、NHK 交響楽団チケット、不動産、相続の相談など、たくさんの使えるメニューがあります。それぞれ割引が付いているので、お得感があります。

「KYOSAINET」に会員登録をすることで使うことができます。会員登録は [こちら](#) から。

[【旧友会ホームページ】](#)

■ ネットワークNHK

局内誌「ネットワークNHK」の最新版をご覧ください。「おくやみ」と同じパスワードが必要です。

■ おくやみ

亡くなられた方々の情報が入り次第、反映しています。旧友会サイトで最も閲覧されているページです。

■ 賀寿情報

白寿、米寿、喜寿、古希の情報は、おくやみにつづいて良く読まれています。

■ 旧友会報

昭和43年の創刊号から第109号まで、全ての「旧友会報」をホームページで閲覧できます。

■ 大災害に備えて

ホームページの「大災害に備えて～東京旧友会マニュアル～」には、大災害が発生したときに行う旧友会の活動が記されています。災害報道は公共放送NHKの使命です。NHKを離れてもできることはあります。もう一度このマニュアルを読んで、私たちができることを確認しておきましょう。東京旧友会のマニュアルですが、他の旧友会の皆さまにも参考になるところは多々あるかと思えます。

■ 近畿燦歩会、例会中止のお知らせ

コロナ感染拡大のため、近畿燦歩会の7月例会は中止になりました。なお、8月は元々お休みです。

■ 掲示板をご活用ください！

旧友会のホームページには掲示板を設置しています。皆さまのサークル活動のご案内などにご活用下さい。⇒情報は「掲示板」と指定の上、送信はこちらへ（文書や画像を添えていただくとうれしいです。もちろん、なくてもかまいません。）

【NHK番組関連情報】

8月です。そしてロシアによるウクライナへの軍事侵攻が続くことしの夏、戦争と平和について考える番組を紹介します。

- NHK スペシャル「戦火の放送局～ウクライナ公共放送の戦い～（仮）」
8月7日（日）総合 午後9時（予定）
ウクライナの公共放送「ススピーリネ」の長期取材から見える、ロシアの情報戦の実態やウクライナ政府の報道規制、そして苦悩する職員たちの姿。戦時下の放送局、その現実と葛藤が描かれる。
- NHK スペシャル「新 ドキュメント太平洋戦争 第2回」
前編 8月13日（土）総合 午後10時（予定）
後編 8月14日（日）総合 午後9時（予定）
昨年12月放送の「1941 開戦」に続く第2弾は、「1942 大日本帝国の分岐点」。前後編の前編では、戦況悪化の中で国民が正しい情報から遠ざけられていく過程が。後編では、東南アジア各地で日本が直面していく厳しい現実が。当時の人々が綴った日記や手記、いわゆるエゴ・ドキュメントを基に丹念に描かれます。

このほかにも、ドラマや映画など戦争と平和を考える番組が充実しています。NHK ホームページ [「いま、戦争と平和を考える」](#) をご覧ください。

【NHK ホームページ情報】

- NHK 戦争を伝えるミュージアム
放送に合わせて、NHK アーカイブスの [ウェブサイト](#) の中に特設ページ「NHK 戦争を伝えるミュージアム」が開設されます。太平洋戦争に関する記事、過去の関連番組の一部、戦争体験者の証言動画など、NHK アーカイブスならではの貴重な映像資料が並びます。

【編集後記】

YouTube の NHK チャンネルが充実しています。国際報道からドラマ予告、ドキュメンタリーの短縮版などのビデオクリップがどんどん更新され、私の登録チャンネルの中では BBC と並び、更新頻度がきわめて高いチャンネルです。

YouTube に代表されるインターネット空間は、既存の巨大メディアが開発できていない境界線=辺境。NHK にとっても未開の地の開拓に現役世代が取り組んでいると思うと、私もわくわくしてきます。

しかしそれほど簡単ではない、とも思います。この辺境には、すでに世界中から多くの開拓者が集まり、新しいタイプの成功者が次々に生まれています。ライバルは、巨大メディアよりむしろ、主催団体や表現者自身であり、今は無名の個人の発信者たちです。利用する側も、自分にとっての面白さや自身の価値軸で自由に選択します。

いずれにしても、NHK がより広い人々の支持を得るためには避けられないメディア大競争時代、もっともっと魅力的なコンテンツやサービスを期待します。そして何より、NHK に関わる全ての人が、新しい公共メディア創りに「ちむどんどん」することを願っています。（鳥）



N H K 東京旧友会

住所：〒150-8001 東京都渋谷区神南 2-2-1

N H K 放送センター内

[メール：nqu-tyo@juno.ocn.ne.jp](mailto:nqu-tyo@juno.ocn.ne.jp)

電話：03-5455-5598 0120-880560 FAX：03-3468-0866

事務局は、東館 660 にあります。ぜひお立ち寄り下さい。

